



安全報告書(2023年)



水間鉄道株式会社

# 2023年安全報告書 目次

- 1 ごあいさつ
- 2-1 安全方針
- 2-2 安全目標
- 2-3 行動規範
- 2-4 安全文化
- 3 輸送の安全について（実態）
  - 3-1 鉄道運転事故
  - 3-2 インシデント（事故の兆候）
  - 3-3 輸送障害
  - 3-4 災害
  - 3-5 行政指導等
- 4 安全管理体制と安全管理の仕組み
  - 4-1 安全管理体制
  - 4-2 ヒヤリハット情報の収集と活用
  - 4-3 緊急時の防災体制
- 5 安全対策の実施状況
  - 5-1 設備関係
  - 5-2 人材の育成等に関する取り組み
  - 5-3 異常時の対応
  - 5-4 その他安全への取り組み
- 6 自治体・関係先との連携
  - 6-1 関係先との連携
  - 6-2 自治体との連携
  - 6-3 お客さまへの安全啓発
  - 6-4 お客さま、住民の皆さまへのお願い

## ごあいさつ

平素は水間鉄道をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。水間鉄道は、大正14年12月24日、貝塚南～名越で営業を開始して以来98年にわたり、市民生活に密着した交通機関として、乗客輸送サービスの向上に努めてきました。お客さまに実感していただけるサービスアップの実現に向けて、取り組んでいるところでもあります。輸送事業者として最も重要な使命である「安全」の確保については、尊い人命を損傷することのないよう、職員の一人ひとりが常に安全を意識することが大切であり、変わることのない使命です。「安全はすべてに優先する」との強い意識を持ち、輸送の安全に関する法令や規定を遵守し、厳正かつ確実に職務を遂行するとともに、職場から提起される危険因子にはスピーディーに対応し、全職員が一丸となって安全文化・安全風土の定着に向けて取り組みます。

この安全報告書は、規定に基づき輸送の安全確保のための体制や取り組み・情報を公表するものです。皆様の忌憚のないご意見・ご感想をお伺いし、安全輸送についてのご期待にお応えするとともに、お客さま、市民の皆さまに安心してご利用いただける鉄道をめざしてまいりたいと存じます。



代表取締役社長 藤本 昌信

## 2-1 安全方針

水間鉄道では、法令・規程の遵守の原則に基づき「安全方針」を定めています。

### 安全方針

「安全の確保」は鉄道事業の最大かつ最重要の、お客さまに対する責務である。私たちは全社員が一丸となって、この責務を誠実に果たし社会に貢献する。

- ・ 一人ひとりがルールを遵守し、職務を確実に遂行するとともに、もし判断に迷ったときは、自ら最も安全と思われる取り扱いをする。

- ・ 事故災害などが発生したときは、人命を最優先に考えて行動し、速やかに安全適切な処置をとるとともに 職責・職場をこえて協力一致し、情報を迅速に伝え、安全の障害となる問題を速やかに解決する。

## 2-2 安全目標

水間鉄道では、「安全方針」に基づき具体的な「安全目標」を定めています。

### 2022年度「安全目標」

- ヒューマンエラーに起因する有責事故「ゼロ」
- インシデント「ゼロ」の継続
- ヒヤリハット報告、提出の促進
- 新型コロナウイルス感染症の社内拡大による輸送への影響「ゼロ」

## 2-3 行動規範

水間鉄道では、「安全目標」を達成のための行動指針として、「行動規範」を定めています。

### 行動規範

- ① 一致協力して事故の防止に努め、輸送の安全の確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程を理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④ 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動しすみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

## 2-4 安全文化

水間鉄道では、「安全方針」や「行動規範」の実効性を高めるため、「安全文化」を策定して、「安全を最優先する企業風土の構築」に努めています。

### 「安全文化」

- 報告する文化  
「事故の芽」等について自ら進んで報告します。
- 正義の文化  
定められた法令や規程類、マニュアルを遵守します。
- 学習する文化  
事故等の情報から、有効な安全対策を策定し実施します。
- 柔軟な文化  
安全確保のために組織や職責をこえて一致協力します。



### 3 輸送の安全について（実態）

#### 3-1 鉄道運転事故

2022年度において、鉄道運転事故は発生していません。

#### 3-2 インシデント（重大事故の兆候）

2022年度において、国土交通省への報告はありません。

#### 3-3 輸送障害

2018年度～2022年度において水間鉄道で発生した輸送障害の発生原因と発生件数は次のとおりです。

発生原因	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
鉄道係員	0	0	0	0	0
車両	0	0	1	1	0
鉄道施設	0	0	1	1	1
※鉄道外	0	0	0	1	0
自然災害	0	1	0	0	0
合計	0	1	2	3	1

※ 輸送障害（30分以上の列車遅延、列車の運休等）

※ 鉄道外とは第三者行為、沿線火災等の外部要因

#### 3-4 災害

2022年度における自然災害等はありませんでした。

#### 3-5 行政指導等の有無

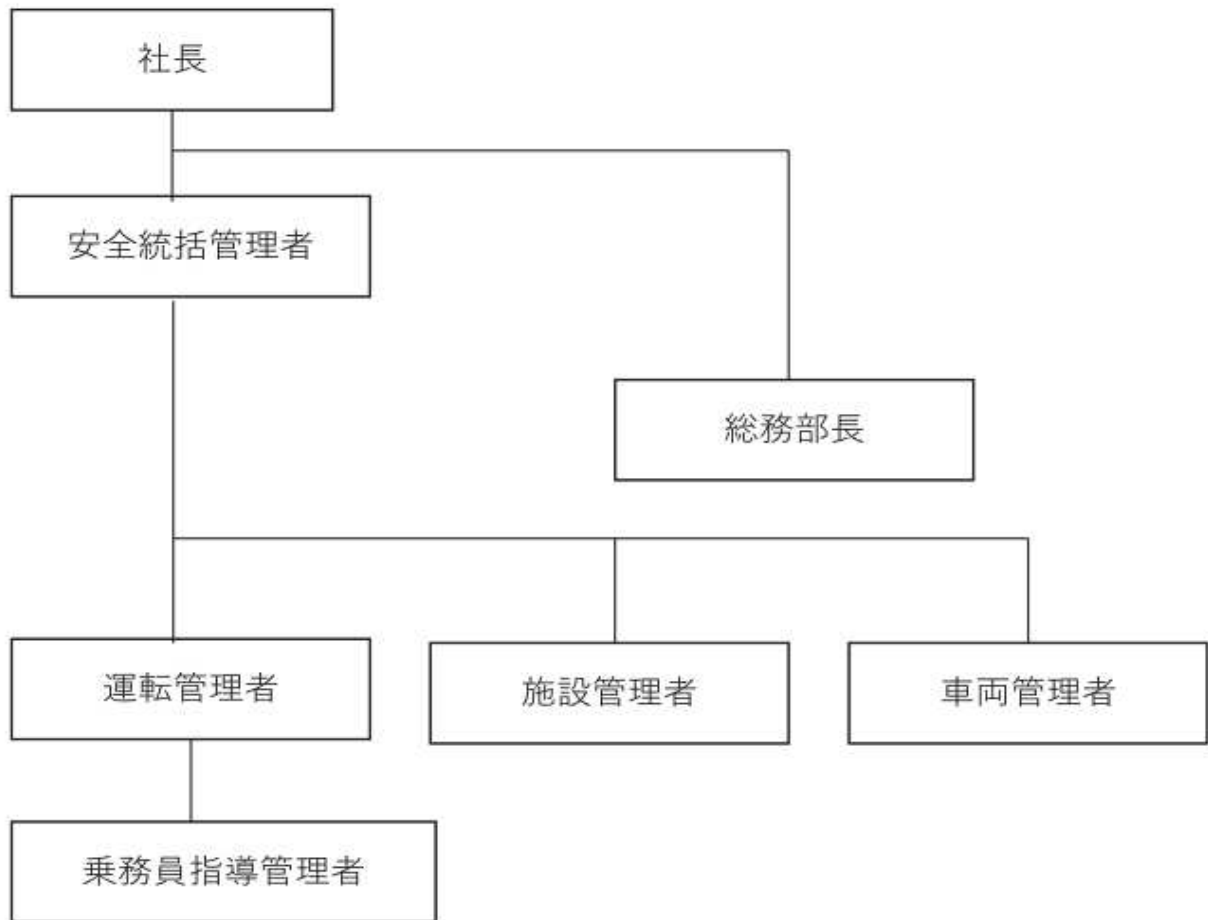
2022年度において行政指導等は受けていません。



# 4 安全管理体制と安全管理の仕組み

## 4-1 安全管理体制

水間鉄道では、社長をトップとする安全管理体制を以下のように定めて、各管理者の責任を明確にした安全管理体制を構築しています。



安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務をします。
総務部長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、財務、要員に関することを統括します。
運転管理者	安全統括管理者の指揮下、運転に関する事項を統括します。
施設管理者	安全統括管理者の指揮下、土木および電気施設に関する事項を統括します。
車両管理者	安全統括管理者の指揮下、車両に関する事項を統括します。

## 4-2 ヒヤリハット情報の収集と活用

### (1) 収集

「ヒヤリとした」「ハットした」事象について各部署で収集し、分析を行う。

### (2) KYT 基礎 4 ラウンド法の実施

危険予知活動シート（基礎4ラウンド法）	
部署・班名	
担当	
第1ラウンド 「どんな危険がひそんでいるか？」 「誰の危険を発生・予知し、危険察知し、その危険によって引き起こされる危害を察知しよう」 第2ラウンド 「これだけ危険の手付くほど」 「察知した危険の中でも、重要な危険の1つは、どんな状況でも、常に意識を高めよう（危険ポイント）を設定しよう」 第3ラウンド 「危険察知と危険予知活動を踏まえて、1つだけやめし、2つはやる（1つはやる、2つはやる）」	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
第4ラウンド 「お自分もどうするぞか」 危険ポイントの発生を察知するが、危険防止の行動は取らないぞか 第5ラウンド 「危険はこうするぞか」 危険察知を察知しては、まだどうも危険な状況から逃れよう（1つだけやめし、2つはやる）」	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	
48	
49	
50	
51	
52	
53	
54	
55	
56	
57	
58	
59	
60	
61	
62	
63	
64	
65	
66	
67	
68	
69	
70	
71	
72	
73	
74	
75	
76	
77	
78	
79	
80	
81	
82	
83	
84	
85	
86	
87	
88	
89	
90	
91	
92	
93	
94	
95	
96	
97	
98	
99	
100	

③ 被害対応 ④

【どんな危険がひそんでいるか】



【状況】  
あなたは、改札口で乗車して話しかけてきたお客様を  
応対しようとしている。

## 4-3 緊急時の防災体制

### (1) 防犯カメラの設置 駅



車内・外      ドライブレコーダー用カメラを流用



### (2) A E D の設置

貝塚駅・水間観音駅に設置



## 5 安全対策の実施状況

### 5-1 設備関係

車いす用スロープの全車両設置



### 5-2 人材の育成に関する取り組み

#### (1) 係員の資質管理

- ① 適性検査
- ② 健康診断の実施状況
- ③ アルコール検査
- ④ 出勤点呼



#### (2) 教育

春・秋の全国交通安全運動、安全運転推進運動、  
年末年始の輸送等に関する安全総点検などの  
期間中に業務教育を実施

## 5-3 異常時の対応

### ① 多言語発信機能

貝塚駅・水間観音駅にA I 通訳機ポケトークを設置



### ② 案内サイネージ機能

貝塚駅・水間観音駅改札口付近にデジタルサイネージを設置



### ③ 警察・消防訓練 護身術訓練、応急処置訓練を受講



### ④ 現場での教育・訓練の実施 AEDを用いた応急処置訓練を実施



## 5-4 その他の安全への取り組み

テロ対策特別警戒中として  
不審者や不審物を発見した際の  
連絡先などを掲出しています

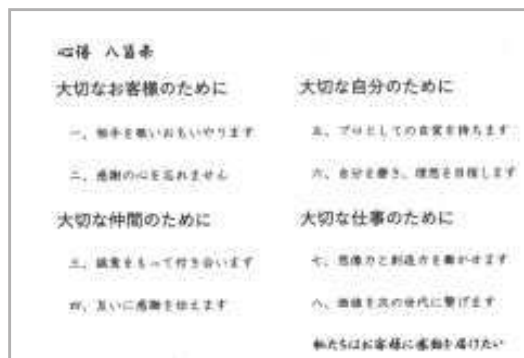




## 6 自治体・関係先との連携

### 6-1 関係先との連携

親会社グルメ杵屋の行動指針



### 6-2 自治体との連携

貝塚警察署・交通安全協会と合同で交通安全運動の啓発



### 6-3 お客さまへの安全啓発

小学校・幼稚園等の「安全教室」や「運転体験」を通じて、お客さまと「鉄道の安全」について共有する機会を設けています。

### 6-4 お客さま、住民の皆さまへのお願い

安全報告書に対するご感想、当社の安全に関する取り組み等に対するご意見は下記までお願いします。

水間鉄道株式会社 総務部

T E L 072-422-4567

F A X 072-431-0249

(8:45~17:35 土・日・祝 年末年始を除く)